

令和8年度 国語科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
227時間		3年 I 課程 A	
年間目標	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
1学期	1	よく聞いて、じこしょうかい	
	1	どきん	
	2	わたしのさいこうの一日 つづけてみよう	
	8	春風をたどって	
	1	図書館たんていだん	
	2	国語辞典を使おう	
	2	漢字の広場①	
	2	春のくらし	
	7	もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために	
	4	漢字の音と訓 漢字の広場②	
	8	文様 こまを楽しむ	
	5	気持ちをこめて、「来てください」	
	2	かん字の ひろば③	
	7	登場人物のへんかに気をつけて読み、好きな場面について話し合おう まいごのかぎ	
	1	俳句を楽しもう	
	2	こそあど言葉を使いこなそう	
	3	【じょうほう】引用するとき	
	11	つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう 仕事のくふう、見つけたよ	
	2	夏のくらし	
	6	本は友だち 本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話	
2学期	3	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	
	3	こんな係がクラスにほしい	
	2	ポスターを読もう	
	2	書くことを考えるときは	
	3	漢字の組み立て	

	6	ローマ字
	12	場面をくらべながら読み、感想を書こう ちいちゃんのかげおくり
	2	修飾語を使って書こう
	2	秋のくらし
	8	進行にそって、はんで話し合おう おすすめの一さつを決めよう
	12	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます
	4	ことわざ・故事成語
	2	漢字の意味
	1	短歌を楽しもう
	2	漢字の広場④
	8	登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしょうかいしよう 三年とうげ
	14	しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう わたしの町のよいところ
	2	冬のくらし
3 学 期	4	詩のくふうを楽しもう
	2	四まいの絵を使って
	2	カンジーはかせの音訓かるた
	2	漢字の広場⑤
	10	読んで考えたことをつたえ合おう ありの行列
	5	言葉について考えよう つたわる言葉で表そう
	8	書き表し方をくふうして、物語を書こう たから島のぼうけん
	8	つたえたいことを、理由をあげて話そう お気に入りの場所、教えます
	13	登場人物について考えたことを、つたえ合おう モチモチの木
	2	漢字の広場⑥
	6	三年生をふり返って

※必要に応じて、校外学習を実施する。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等	
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、ぬいぐるみ、点図
◆レーズライター、ひも、プラスチック棒（漢字の構成等）	

令和8年度 社会科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程・人数	担当者
70時間	3年 I 課程 A	

年間目標	(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	
学期	時数	単 元
1学期	1 6 10	1 わたしたちのまちと市 オリエンテーション (1) まちの様子 (2) 市の様子
	10 1	2 はたらく人とわたしたちの暮らし オリエンテーション (1) 店ではたらく人と仕事 つなげる
2学期	8	(2) 工場ではたらく人と仕事 / 農家の仕事(選択教材)
	9 1 8	3 地いきの安全を守る オリエンテーション (1) 火事からまちを守る つなげる (2) 事故や事件からまちを守る
3学期	7 8 1	4 わたしたちの市の歩み オリエンテーション (1) かわる道具と暮らし (2) 市のうつりかわり つなげる

※必要に応じて、校外学習を実施する。

学習に必要な視覚支援機器 ◆点字教科書 ◆筆記用具 ・点字タイプライター(パーキンスブレイラー、ライトブレイラー) ・レースライター ◆教科書に出てくるものの実物 ◆模型、点図 副教材:わたしたちの南風原町
--

令和8年度 算数科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
210時間		3年 I 課程 A	
年間目標	(1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。 (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う		
学期	時数	単 元	
1 学期	10	1 かけ算	
	11	2 たし算とひき算の筆算(珠算)	
	1	暗算	
	13	3 ぼうグラフと表	
	1	表とグラフを組み合わせで考えよう	
	8	4 時こくと時間	
	10	5 わり算	
	1	間は何mかな	
	10	6 あまりのあるわり算	
	11	7 円と球	
	2	ふくしゅう	
2 学期	16	8 かけ算の筆算(珠算)	
	5	9 答えが2けたになるわり算	
	13	10 10000より大きい数	
	15	11 小数	
	10	12 長さ	
	12	13 分数	
	12	14 三角形と角	
	4	どんな計算するのか	
	2	ふくしゅう	
3 学期	12	15 重さの単位	
	1	つくれる重さは何g	

3 学 期	8	16 □を使った式
	1	暗算
	12	17 2けたの数をかける計算(珠算)
	7	18 倍とかけ算、わり算
	2	3年のふくしゅう

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
※筆算は珠算でおこなう ◆点字教科書 ◆パーキンスブレーラー ◆教科書に出てくるものの実物 ◆おはじき、お手玉等 ◆そろばん、ぶんまわし、模型、点図、レーズライター、ひも、プラスチック棒

令和8年度 理科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
70 時間	3年 I 課程 A	

年間目標	(1) 物質・エネルギー ① 物の性質, 風とゴムの力の働き, 光と音の性質, 磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 物の性質, 風とゴムの力の働き, 光と音の性質, 磁石の性質及び電気の回路について追究する中で, 主に差異点や共通点を基に, 問題を見いだす力を養う。 ③ 物の性質, 風とゴムの力の働き, 光と音の性質, 磁石の性質及び電気の回路について追究する中で, 主体的に問題解決しようとする態度を養う。 (2) 生命・地球 ① 身の回りの生物, 太陽と地面の様子についての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 身の回りの生物, 太陽と地面の様子について追究する中で, 主に差異点や共通点を基に, 問題を見いだす力を養う。 ③ 身の回りの生物, 太陽と地面の様子について追究する中で, 生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
	学期	時数 単 元
1学期	1	●まずは「なんで?」を, さがしてみよう。
	4	1. 春のいきもの
	2	2. たねまき
	6	3. チョウのかんさつ
	2	●どれぐらい育ったかな
	2	●トンボやバッタを育てよう
	7	4. 風やゴムのはたらき
2学期	2	●実ができたよ
	3	5. こん虫の観察
	6	6. 太陽とかげ
	6	7. 太陽の光
	5	8. 音のせいしつ
	6	9. 物の重さ
3学期	6	10. 電気の通り道
	8	11. じしゃくにつけよう
	3	●つくってあそぼう
	1	○学んだことをふり返ろう!

沖縄盲学校独自の教材や教具と、学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにできる為、教室外に観察等に行った時も使用可能。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy — ・UDブラウザ 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆触覚教材 ・3D プリンター ・自作の触察教材 ・動物や植物のおもちゃ ◆視覚障害者用方位磁針 ◆視覚障害者用感光機
--	--

令和8年度 音楽科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
53		3年 Ⅰ課程 A	
年間目標	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。		
学期	時数	単元名 ○歌唱 ◇器楽 ☆音楽づくり ♪鑑賞 (共) 共通教材	
Ⅰ学期	6	1 音楽で心をつなげよう ○ハッピーソング リズムでなかよくなろう (共) 春の小川 (共) 茶つみ	
	4	2 歌って音の高さを感じよう ○◇ドレミで歌おう ○◇海風きって	
	8	3 リコーダーのひびきに親しもう ♪小鳥のために ♪ピタゴラスイッチ ◇坂道/雨上がり	
	8	4 拍にのってリズムをかんじよう ◇○ゆかいな木きん ◇○あの雲のように ◇アチャパチャノチャ ☆手拍子でリズム	
Ⅱ学期	6	5 せんりつのとくちょうをかんじよう ○◇とどけよう このゆめを ♪メヌエット (共) ふじ山 (共) うさぎ	
	5	6 せんりつの重なりをかんじよう ♪かね ○歌おう 声高く ◇メリーさんのひつじ	
	7	7 いろいろな音のひびきに親しもう ♪トランペットふきの休日 ♪よろこびの歌 ◇パフ ☆クロックミュージック	
Ⅲ学期	4	8 ちいきにつたわるおんがくでつながろう ♪神田囃子「投げ合い」 ☆ラドレの音でせんりつづくり 地域に伝わる祭り囃子を調べよう	
	5	9 思いを音楽で表そう ○帰り道 ◇エーデルワイス	
適時		※文化祭やミニ発表会、卒業式などの行事に合わせて、児童の実態を考慮しながら取り扱う楽曲を入れ替えたり加えたりする。 ※日本の伝統的な音楽や郷土の音楽に触れる機会を設ける。	

令和8年度 図工科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35	3年・I課程A	

年間目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。	
学期	時数	単 元
1学期	2	絵のぐ+水+ふで=いいかんじ! ※こいのぼりに色を塗るに変えてもよい
	3	切ってかき出してくっつけて
	3	うごいて楽しいわりピンワールド 遊ぶもの
	3	ひもでつないで
2学期	2	これでかきたい
	3	空きようきのへんしん ※「これでかきたい」の筆も使う
	4	トントン どんどん くぎうって
	5	いろいろうつして 版に表す ※紙版画に変えたもいいかも
3学期	4	ぬのでえがくと
	2	マグネットマジック 遊ぶもの・仕組みから
	4	クミクミックス 行為から

学習に必要な視覚支援機器

◆筆記用具

- ・点字タイプライター（パーキンスブレイラー）
製作や鑑賞した感想を書く。

◆実物、模型、ぬいぐるみ（制作したい物 等）

◆レースライター、点図

制作する物の輪郭などを触って確認する。

令和8年度 体育科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
70時間		3年 I 課程 A	
年間目標	(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
年間		・集合・整列 ・準備運動 ラジオ体操 ・整理体操	
1学期	6	・ストレッチ、体を知ろう 動かそう（体ほぐしの運動遊び）	
		・走ろう、ジャンプしよう（走・跳の運動遊び）	
		・バランスをとろう、道具を使おう （多様な動きをつくる運動遊び、器械器具を使った運動遊び） ・スポーツテスト	
	18	・水遊び	
2学期	18	・踊ろう（表現リズム遊び）	
		・ロープ走（走、跳の運動遊び）	
	6	・サーキット（器械器具を使った運動遊び）	
	3	・体の清潔（エイズデイに向けて）	
3学期	5	・ゆっくり走ろう	
	5	・縄跳び遊び	
	5	・ボール遊び	
	4	【保健】 「健康な生活」	

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
◆絆（ロープ）、ロープ走・円周走用ロープ、バトン等 ◆音源（ホイッスル、スピーカー、鈴、鳴子など） ◆鈴入りボール、ゴールネット、歩行用マット

令和 8 年度 外国語活動 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
3 5 時間	3 年 I 課程 A	

年間目標	・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 ・外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1 学期	2	Hello !
	2	How are you?
	4	How many?
	4	I like blue.
2 学期	4	What do you like?
	4	ALPHABET
	5	This is for you.
3 学期	5	What's this?
	5	Who are you?

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
◆点字教科書 ◆パーキンスブレーラー（点字カードの作成等） ◆教科書にでるものの実物や模型

令和8年度 道徳科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
35時間		3年 I 課程 A	
年間目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学期	時数	単元	
1学期	1	1 あなたならできる「自分でできることを ふやす」【A 節度、節制】	
	1	2 気持ちのいいあいさつ「心をこめて」【B 礼儀】	
	1	3 貝がら「友達としかいし合う」【B 友情、信頼】	
	1	4 ふろしき「つたえられてきた文化」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	
	1	5 ライラックのさく庭で「ほかの国の人たちともなかよく」 【C 国際理解、国際親善】	
	1	6 ヒキガエルとロバ「命あるものを大切に」【D 生命の尊さ】	
	1	7 新聞係「きまりを守ることの意味」【C 規則の尊重】	
	1	8 「えがおいっぱい」「楽しいクラスをつくる」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	
	1	9 エプロン「自分のよさに気づき、のぼす」【A 個性の伸長】	
	1	10 気づく心「相手の立場になって」【B 親切、思いやり】	
2学期	1	11 おそろしいゲームいぞん「けんこうに気をつけて生活する」【A 節度、節制】	
	1	12 悪いのはわたしじゃない「あやまちをみとめてすなおに」【A 正直、誠実】	
	1	13 仲間だから「友達のためにできること」【B 友情、信頼】	
	1	14 何がいけないのかな「真心をもって」【B 礼儀】	
	1	15 楽しめばすきになる「努力は楽しんで」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	
	1	16 ドッジボール大会「男女で分けへだてをせずに」 【C 公正、公平、社会正義】	
	1	17 どうしよう……「明るい心で正直に」【A 正直、誠実】	
	1	18 わたしの妹、加奈「家族みんなで協力し合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	
	1	19 よわむし太郎「正しいと思ったことを行う」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	
	1	20 ぴっかぴか「みんなのためにはたらくとは」【C 勤労、公共の精神】	
	1	21 なんて言ってつたえる?「気持ちをつたえ合う」【B 相互理解、寛容】	
	1	22 おにのかんたのゆめあんな「家族で協力し合って」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	
	1	23 金色の魚「節度を守って」【A 節度、節制】	
	1	24 光祐くんのアサガオ「命を受けついで」【D 生命の尊さ】	

3 学 期		25 ひと言の勇氣「正しいことは自信をもって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
		26 花さき山「美しい心」【D 感動、畏敬の念】
		27 手伝う心「こまっている人のために」【B 親切、思いやり】
		28 タンタンタンゴはパパふたり「すてきな動物たち」【D 自然愛護】
		29 公園のひみつ「ささえてくれている人へのかんしゃ」【B 感謝】
		30 自分たちにできること「いろいろな国に関心を」【C 国際理解、国際親善】
		31 心のこもった給食「かんしゃの気持ち」【B 感謝】
		32 お祭りにこめられている思い「ちいきにつたわる文化を大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】
		33 つなみてんでんこ——走れ、上へ——「命を守る」【D 生命の尊さ】
		34 音のこうずい「きまりを守って」【C 規則の尊重】
		35 昔からの味をつたえる野菜「文化をつたえる」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等	
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、ぬいぐるみ、点図

令和8年度 総合的な学習の時間 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35 時間	3 年 I 課程 A	

年間目標	(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1 学期	1	総合学習ってなに？
	2	調べたいことを決めよう（テーマ：植物・生き物について調べ、育てよう）
	5	かいこをそだてよう
	2	まとめよう
2 学期	2	かいこのまゆから糸を取ろう 様子をまとめよう
	7	大豆をそだてよう 成長日記をかこう
	4	大豆についてまとめよう
	3	2学期の活動を発表しよう
3 学期	5	大豆を使った料理について しらべてまとめよう
	2	豆腐作りの買い出しに行こう
	5	豆腐作りをしよう

※必要に応じて、校外学習を実施する。

※沖縄の伝統文化・芸能に触れる機会を設ける。

学習に必要な視覚支援機器 ◆点字教科書 ◆筆記用具 ・点字タイプライター（パーキンスブレイラー） ・レーズライター ◆具体物、半具体物等 ◆模型、ぬいぐるみ、点図

令和 8 年度 特別活動 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35 時間	3 年 I 課程 A	
指導目標	・活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校における よりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や 健全な生活態度を育てる。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	

学期	時数	単 元
1 学期	1	3 年生に なって 自分をみつめよう (キャリアパスポート)
	1	学級の係活動、当番活動を決めよう
	4	児童会活動 (役員について/児童会計画/慰霊の日について/夏休みの過ごし方)
	1	1 組の係活動を決めよう
	1	健康について考えよう雨の日の過ごし方
	2	真地小の友だちと交流しよう
	1	避難訓練について
	1	自分をみつめよう (キャリアパスポート)
2 学期	1	2 学期の目標 (キャリアパスポート)
	1	学級の係活動、当番活動を決めよう
	4	児童会活動 (各学年の発表)
	2	運動会について 運動会の係について
	2	児童集会の発表練習
	1	点字記念日集会
	1	自分をみつめよう (キャリアパスポート)
	1	大掃除をしよう
3 学期	1	3 学期の目標 (キャリアパスポート)
	3	児童会活動 (役員選挙について/児童会役員引き継ぎ式)
	1	北丘小の友だちと交流しよう
	1	自分をみつめよう (キャリアパスポート)
	1	卒業生を送る会にむけて

	2	卒業式に向けて 担当の係
	1	教室の掃除、整頓

※必要に応じて、校外学習を実施する。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等	
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、ぬいぐるみ、点図

令和8年度 国語科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
210時間		4年 I 課程 A	
年間目標	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
I 学期	1	力を合わせてばらばらに	
	1	春のうた	
	1	なりきって書こう	
	7	白いぼうし	
	1	図書館の達人になろう	
	2	漢字辞典を使おう	
	2	春の楽しみ	
	6	聞き取りメモのくふう [コラム] 話し方や聞き方からつたわること	
	2	カンジーはかせの都道府県の旅I	
	2	漢字の広場①	
	8	思いやりのデザイン アップとルーズで伝える [じょうほう] 考えと例	
	4	お礼の気持ちを伝えよう	
	2	漢字の広場②	
	7	一つの花	
	2	つなぎ言葉のはたらきを知ろう	
	1	短歌・俳句に親しもう(一)	
	2	[じょうほう] 要約するとき	
	10	新聞を作ろう [コラム] アンケート調査のしかた	
	2	カンジーはかせの都道府県の旅2	
	2	夏の楽しみ	
	5	本のポップや帯を作ろう 神様の階段	
	2	忘れもの ぼくは川	
	3	あなたなら、どう言う	
	2	パンフレットを読もう	
	2	どう直したらいいかな	
	2	いろいろな意味をもつ言葉	
	2	ローマ字を使いこなそう	

2 学 期	2	漢字の広場③
	12	ごんぎつね[コラム] 言葉を分類しよう
	2	漢字を正しく使おう
	2	秋の楽しみ
	8	クラスみんなで決めるには秋の楽しみ
	12	未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう
	2	慣用句
	1	短歌・俳句に親しもう(二)
	2	漢字の広場④
	8	友情のかべ新聞
	10	もしものときにそなえよう
	2	冬の楽しみ
3 学 期	4	自分だけの詩集を作ろう
	2	言葉から連想を広げて
	2	熟語の意味
	2	漢字の広場⑤
	8	風船でうちゅうへ
	4	つながりに気をつけよう
	7	心が動いたことを言葉に
	8	調べて話そう、生活調査隊
	7	スワンレイクのほとりで
	1	漢字の広場⑥
	1	四年生をふり返って

(この文章は最終では削除して下さい) 業者から出ている大単元などの細かい年間計画は、データをダウンロードし、データのための提出とする。下記の盲学校独自の教材・教具・学習機器を特筆する。その際は、児童の実態に応じて全盲と弱視のどちらかを入れる。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができるように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学ぶことができる。
---	---

令和8年度 社会科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
105 時間	4 年 I 課程 A	

年間目標	(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	
学期	時数	単 元
	2	広げてみよう、市から県へ みりよくがいっぱい!知りたいな、47 都道府県
	8	大単元1 県の地図を広げて
	29	大単元2 健康なくらしとまちづくり
	(14)	1 ごみはどこへ
	(13)	2 水はどこから
	(1)	つなげる 水を大切に使うということは…
	(1)	ごみと水について学んだことを、くらしに役立てよう
	10	大単元3 自然災害にそなえるまちづくり
	9	地震にそなえるまちづくり(選択) 水害にそなえるまちづくり 火山の噴火にそなえて 雪の災害にそなえて
	10	大単元4 地域で受けつがれてきたもの
	13	大単元5 昔から今へと続くまちづくり
	3	<せんたく>沖縄の文化のよさを伝える
	19	大単元6 わたしたちの県のまちづくり
	(6)	1 焼き物を生かしたまちづくり
	(6)	2 (せんたく) 自然を生かしたまちづくり
	(5)	3 国際交流がさかんなまちづくり
	2	自分たちの県を外国の人にしょうかいしよう

令和8年度 算数科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
192.5 時間		4 年 I 課程 A	
年間目標	(1) 数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。 (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
1 学期	11	1 折れ線グラフと表	
	1	グラフから読み取ろう	
	13	2 わり算の筆算（珠算）	
	2	ふくしゅう、暗算	
	9	3 角度	
	8	4 大きな数	
	1	大きな数をつくろう	
	1	英語の数の読み方	
	6	5 式と計算	
	16	6 垂直、平行と四角形	
	1	つなげて切ると？	
	2	ふくしゅう	
2 学期	11	7 がい数	
	19	8 2けたの数でわる計算	
	5	9 変わり方	
	1	曾呂利新左衛門のほうび	
	2	ふくしゅう	
	5	10 倍とかけ算、わり算	
	1	どんな計算するのかな	
	1	おみやげを買おう	
	15	11 小数	
	14	12 面積	
	1	天才ガウス少年の計算	
	2	ふくしゅう	
	17	13 小数と整数のかけ算・わり算（珠算）	

3 学 期	11	14 分数
	1	小数と分数のれきし
	11	15 直方体と立方体
	1	算数お仕事インタビュー
	3	4年のふくしゅう

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられえ。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができるように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学ぶことができる。
---	---

年間指導計画

令和 8 年度

教科・領域	学年・課程	年間総時数	担当者
理科	4年 I 課程 A	105 時間	

年間目標	①空気、水及び金属の性質、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子などについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ②人の体のつくりと運動、気象現象、月や星についてなどを追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 ③電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、などについて追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1学期 36	4	1. あたたかくなると
	5	2. 動物のからだのつくりと運動
	5	3. 天気と気温
	7	4. 電流のはたらき
	6	5. 雨水のゆくえと地面のようす
	5	●暑くなると
	2	●夏の星
	2	○わたしの研究
2学期 42	5	6-1. 太陽とかげの動きを調べよう(点字本編集)
	5	6-2. 月や星の動き
	6	7. 自然のなかの水のすがた
	4	●すずしくなると
	6	8. とじこめた空気と水
	7	9. 物の体積と温度
	9	10. 物のあたたまり方
	2	●冬の星
	5	●寒くなると
	14	11. 水のすがたと温度
3学期 27	4	12. 生き物の1年をふり返って
	2	1 年間をふりかえろう 理科とSDGs 理科とプログラミング

沖縄盲学校独自の教材や教具と、学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な視覚教材や機器等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらずちに指でなぞって読むことができる。 ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ◆触覚教材 ・3D プリンター ・自作の触察教材 ・動物や植物のおもちゃ
-----------------------	---

令和8年度 音楽科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
52.5 時間		4 年 I 課程 A	
年間目標	(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
I 学期	4	1.音楽で心の輪を広げよう ○小さな世界 (そだてよう)リズムでなかよくなろう① (共)さくら さくら	
	7	2.歌声のひびきを感じ取ろう ○◇いいこと ありそう ○◇風のメロディー ♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱 (共)まきばの朝	
	8	3.いろいろなリズムを感じ取ろう ◇クラッピン グ ファンタジー 第7番 楽しいマーチ (そだてよう)リズムでなかよくなろう② ◇○いろんな木の実 ♪ピーナッツ ベンダー(参考曲) ☆言葉でリズムアンサンブル	
	3	4.ちいきにつたわる音楽に親しもう ♪こきりこ (チャレンジ)ちいきにつたわるおどりやまの音楽を調べよう	
	8	5.せんりつのとくちょうを感じ取ろう ○ゆかいに歩けば ◇陽気な船長 ♪白鳥 ♪堂々たるライオンの行進(参考曲) (共)とんび	
	9	6.せんりつ of 重なりを感じ取ろう ○パレード ホッホー ♪ファランドール ◇サミングにちょうせん! ◇オーラ リー (共)もみじ	

2 学 期	8	7.いろいろな音のひびきを楽しもう ☆打楽器の音楽 ♪ポロネーズ ♪茶色の小びん(参考曲)
	5	8.日本の音楽でつながろう ♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」から (チャレンジ)♪津軽じょんから節(参考曲)／いんさぐぬ花(参考曲) (チャレンジ)ことをひいてみよう「さくら さくら」の音階でせんりつづくり
	8	9.思いを音楽で表そう ○赤いやねの家 ◇鉄わんアトム ♪山の魔王の宮殿にて ♪朝の気分(参考曲)
	年間	歌いつごう 日本の歌 みかんの花さくおか／せいくらべ／みどりのそよ風
	年間	みんなで楽しく ごんぎつね／いつだって!／林の朝／世界を旅する音楽室／花束をあなたに／チャレン ジ!／Sing a rainbow／雨の公園／ハッピー バースデイ トゥ ユー／スーパーカリフラ ジリスティック／エクスピアリドーシャス

※日本の伝統的な音楽や郷土の音楽にふれる機会を設ける。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。 書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることが できる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速 さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある 児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができる ように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学 ぶことができる。
---	--

年間指導計画

令和 8 年度

教科・領域	学年・課程	年間総時数	担当者
図工	4 年・I 課程 A	35	

年間目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。	
学期	時数	単 元
1 学期	2	絵の具+水+ふで=いいかんじ！ ※こいのぼりに色を塗るに変えてもよい
	3	切ってかき出してくっつけて 材料や用具から（粘土で）
	4	うごいて楽しいわりピンワールド 動いて楽しいわりピンワールド ★ 3・4 年生の作品 みんなの図工ギャラリー ー 小学校 図画工作 日本文教出版
		ひもでつないで
2 学期	2	これでかきたい
	3	空き容器の変身
	4	トントン どんどん くぎうって
	5	いろいろ写して版に表す
3 学期	4	布で描くと
	2	マグネットマジック 遊ぶもの・仕組みから
	4	クミクミックス

学習に必要な視覚支援機器

◆筆記用具

・点字タイプライター（パーキンスブレイラー）

製作や鑑賞した感想を書く。

◆教科書に出てくるものや、視覚障害にそった実物や模型

◆手で見てわかる模型、ぬいぐるみ、点図

◆レーズライター、点図

制作する物の輪郭などを触って確認する。

◆けが防止のための事前の工夫した教材作り

※先のとがったものの先を削る、先にグルーガンでろうを付ける

※鑑賞など、混色や

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦身の回りのものを見たり好きなものを思い浮かべたりして、試しながら表すときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、組合せによる感じなどが分かる。		㊦表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりしながら表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧前学年までのクレヨンやパス、色鉛筆などについての経験を生かし、手や体全体の感覚を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦形や色の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 ----- 【鑑賞する活動を関連付けて指導する場合】 ㊦自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。		
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
何度も試したり、いろいろなことを思い浮かべたりしながら、自分の好きなものを見付けることを楽しむ子ども。		○クレヨン・パスなどの経験について振り返る。 ○表し方を試したり、自分の好きなものや楽しみなことを思い浮かべたりして絵にかく活動に意欲をもつ。 ○これまでの経験を生かしながらかく。 ○互いの作品を見合い、よさを味わう。		教師・児童：新聞紙、ペン、ティッシュペーパー、古布 など 教師：画用紙、割り箸、竹串 など 児童：クレヨン・パス、色鉛筆、手拭きタオル など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
身の回りのものを見たり好きなものを思い浮かべたりして、試しながら表すときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、組合せによる感じなどが分かっている。	前学年までのクレヨンやパス、色鉛筆などについての経験を生かし、手や体全体の感覚を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	自分のイメージをもちながら、表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりしながら表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	
道徳：A 個性の伸長				

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。		㊦粘土を切ったりかき出したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧切り糸、かきべらを適切に扱うとともに、前学年までの粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
用具を使うことでできる表現があることに気づき、そのよさを生かしながらつくりだそうとする子ども。		○用具の基本的な扱いについて知り、使うことに興味をもつ。 ○用具を使ってできることをいろいろと試しながら表したいことを見付ける。 ○できた形を組み合わせたり、手や用具でさらに形を変えたりしながら表現を深める。 ○友人と互いの作品を見合って、用具の使い方の違いや、表現の面白さを味わう。		教師・児童：粘土板、雑巾、新聞紙、歯ブラシ など 教師：土粘土、切り糸、かきべら など 児童：粘土べら など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	切り糸、かきべらを適切に扱うとともに、前学年までの粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土を切ったりかき出したこと、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かる。		㊦使う様子を想像したり材料を組み合わせることで感じたりしたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、前学年までの紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊧実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ④形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
自分の生活を基に発想し、身の回りのものを組み合わせながら、生活を豊かに楽しくするものをつくることに喜びを感じる子ども。		○家で使いたい小物入れなどについて、どのようなものを入れたいか、どこで使いたいかなどを発表し合う。 ○空き容器の形を変えたり組み合わせたりしてつくりたい形を考える。 ○紙粘土を貼り付けるなどして、思いに合わせた小物入れをつくる。 ○実際に物を入れるなどしてよさを味わう。		教師・児童：空き容器、身辺材 など 教師：紙粘土、粘着テープ、リサイクルばさみ など 児童：絵の具、粘土べら など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かっている。	空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、前学年までの紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、使う様子を想像したり材料を組み合わせて感じたりしたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい、進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。		㊦段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。		・進んで段ボールの板を組み合わせてつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。		㊧段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。		
		㊨形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
平面のものでも組み合わせることで立体的なものに変化する面白さを味わったり、友人と協力することで大きいものをつくりだすことができる喜びを感じたりする子ども。		○段ボールを段ボールカッターでいろいろな形に切る。 ○切った段ボールに切込みを入れて形を組み合わせる。 ○組み合わせでできた形を見ながら、次に組み合わせたい形や場所を考え、形をつくりかえていく。 ○友人とできた形を紹介し合いながら、互いのつくった形のよさや面白さを感じ取る。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで段ボールの板を組み合わせでつくる学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	
道徳：Ｂ 友情、信頼				

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦ぬらした段ボールでできるいろいろな形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。		㊦段ボールの形を変えながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んでぬらした段ボールで形をつくっていく活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧ぬらした段ボールなどを適切に扱うとともに、前学年までの段ボールや絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊧自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊨形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
日常的に利用している素材に新たな価値を見だし、手を動かしながら試す中で形を見付け、つくりかえていくことを楽しみ追求する子ども。		○段ボールをぬらすと、形を変えられることを知り、主体的につくる活動に関心をもつ。 ○段ボールや用具を使って、試しながら形をつくっていく。 ○互いの作品を見合い、よさを味わう。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター、木工用接着剤、トレー、洗濯ばさみ、プラスチックカップ、絵の具 など 児童：はさみ
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
ぬらした段ボールでできるいろいろな形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	ぬらした段ボールなどを適切に扱うとともに、前学年までの段ボールや絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの形を変えながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでぬらした段ボールで形をつくっていく学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。		㊦釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊧自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。		
		㊨形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
新しい用具を積極的に使い、全身の感覚を働かせながら、用具を生かした表し方を思い付き、それを楽しむ子ども。		○金づちの扱いや、釘の打ち方などを知り、釘を打つことに興味をもつ。 ○木に釘を打ちながら、できた形を基に表したいことを考える。 ○思いに合わせてさらに釘を打つ。 ○自分たちの作品を紹介し合いながら、よさや面白さについて話し合う。		教師：木切れ、金づち、釘、釘抜き、ペンチ など 児童：水彩用具一式、ペン など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦想像を広げて、学校にある隅を自然材を使ってつくりかえるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かる。 ㊧自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。		㊦学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ㊧自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊨形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで想像を広げて場所を自然材を使ってつくりかえる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
場所の特徴に着目して自らの想像を膨らませるとともに、自然の材料を生かしながらイメージを形にしていくことを楽しんだり味わったりする子ども。		○学校にある隅から想像を広げてつくる活動に関心をもつ。 ○隅を探し、活動場所を考える。 ○自然材を使って場所をつくりかえる。 ○互いのつくったものを見合い、感じたことを伝え合う。		教師：ひも、土粘土（接合用） など 児童：タブレット端末 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
想像を広げて、学校にある隅を自然材を使ってつくりかえるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かっている。	自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい 進んで想像を広げて場所を自然材を使ってつくりかえる学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦葉を集めて、その形や色を見るとき の感覚や行為を通して、形の感じ、色 の感じ、それらの組合せによる感じ、色 の明るさなどが分かる。 ----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する場 合】 ㊦水彩絵の具を適切に扱うとともに、前 学年までのペンなどについての経験を 生かし、手や体全体を十分に働かせ、 表したいことに合わせて表し方を工夫 して表す。		㊦いろいろな葉の造形的なよさや面白さについて、感 じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げ る。 ㊦形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色 の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。 ----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 ㊦集めた葉やつくった色から感じたこと、想像したこ とから、表したいことを見付け、形や色、材料などを 生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで葉を集めて身近な自然の形や色 の面白さを感じ取る活動に取り組み、 つくりだす喜びを味わうとともに、形 や色などに関わり楽しく豊かな生活を 創造しようとする。
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
身近な自然がつくりだす形や色の多様さ に気づき、そのよさや面白さを感じなが ら、大切にしたいと思う子ども。		○外で自分がいいなと思う葉を集める。 ○集めた葉を並べながら、形や色などについて気付いた ことを話し合う。		教師：画用紙、模造紙、トレー、透明なシ ール など 児童：はさみ など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に 取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
葉を集めて、その形や色を見 るときの感覚や行為を 通して、形の感じ、色の感 じ、それらの組合せによる 感じ、色の明るさなどが分 かっている。	【絵に表す活動を関連付 けて指導する場合】 水彩絵の具を適切に扱う とともに、前学年までのペ ンなどについての経験を 生かし、手や体全体を十分 に働かせ、表したいことに 合わせて表し方を工夫し て表している。	形の感じ、色の感じ、それ らの組合せによる感じ、色 の明るさなどを基に、自分 のイメージをもちながら、 集めた葉やつくった色か ら感じたこと、想像したこ とから、表したいことを見 付け、形や色、材料などを 生かしながら、どのように 表すかについて考えてい る。	形の感じ、色の感じ、それ らの組合せによる感じ、色 の明るさなどを基に、自分 のイメージをもちながら、 いろいろな葉の造形的な よさや面白さについて、感 じ取ったり考えたりし、自 分の見方や感じ方を広げ ている。	つくりだす喜びを味わい 進んで葉を集めて身近な 自然の形や色の面白さを 感じ取る学習活動に取り 組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。		㊦材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧版画の用具を適切に扱うとともに、前学年まではさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊧自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。		
		㊨形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。		
育てたい子どもの姿		主な学習内容		主な材料・用具
材料や版の組合せ、色などを試しながら、少しずつ思いを広げ、実現しようとする子ども。		○教科書の参考作品などを見て、材料や写し方、色などを工夫して版に表すことを知る。 ○材料に触れながら表したいことを考え、版をつくり、刷る。 ○刷ったものを見て、さらに刷りたしたりかき加えたりして表現を深める。 ○友人と互いの作品を見合って、よさやいろいろな工夫を伝え合う。		教師・児童：新聞紙、身辺材 など 教師：版画用紙、版画用具一式、片面波段ボール、木工用接着剤 など 児童：クレヨン・パス、水彩用具一式、はさみ、のり など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	版画の用具を適切に扱うとともに、前学年まではさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等			特設ページ	

題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦顔を出したくなるパネルをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。		㊦顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで顔を出したくなるパネルをつくりたり使ったりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
㊧水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊧実際に顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		
身近な材料や用具を使い、友人や身近な人にも楽しく使ってもらうことを想像しながら、生活を豊かにするものをつくることに意欲をもつ子ども。		○顔を出したくなるパネルをつくる活動に意欲をもつ。 ○段ボールに穴を開けて顔を出したり、好きなことを思い浮かべたりながら表したいことを考える。 ○確かめながらつくる。 ○実際に顔を出し合って友人と互いの作品を見合う。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター、ローラー、木工用接着剤、画用紙や厚紙 など 児童：水彩用具一式、タブレット端末 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（Ａ表現）	鑑賞（Ｂ鑑賞）	
顔を出したくなるパネルをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、実際に顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで顔を出したくなるパネルをつくりたり使ったりする学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
特別活動：（１）学級や学校における生活づくりへの参画				

令和8年度 体育科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程・人数	担当者
70 時間		4 年 I 課程 A	
年間目標	(1)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2)自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。		
学期	時数	単 元	
年間を通して		集合・整列・音源移動・方向転換・準備運動・体操・基本ステップ・ランニング	
1 学期		体づくり運動・体ほぐしの運動 体カテスト（上体起こし、握力、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、長座体前屈、反復横跳、20mシャトルラン、50m走（ロープ走）	
		器械器具を使った運動（跳び箱、マット、鉄棒、雲梯） 体力を高める運動（縄跳び：長縄、短縄）	
		浮く運動（けのび） 水泳（バブリング、バタ足、クロールなど）	
2 学期		リズムダンス 表現運動	
		走の運動（ロープ走）	
		ボール運動（ゴールボール）	
		体力を高める運動（縄跳び：長縄、短縄）	
3 学期		持久走（ロープ走）	
		器械器具を使った運動（マット：前転、後転、とび箱：支持跳び越し）	
		ボール運動（ゴールボール）	
	I	【保健】 「変化してきたわたしの体」	
	I	「大人に近づく体」	
	I	「体の中で起こる変化」	
	I	「よりよい発育・発達のために」	

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができるように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学ぶことができる。
---	---

令和 8 年度 外国語活動 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35 時間	4 年 I 課程 A	

年間目標	・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本と外国の文化、日本語と外国語の共通点や相違点に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 ・外国語を通して、相手に配慮しながら伝え合おうとする、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1 学期	2	Hello, world!
	2	Let's play cards
	4	I like Mondays
	4	What time is it?
2 学期	4	Do you have a pen?
	4	ALPHABET
	5	What do you want?
3 学期	5	This is my favorite place.
	5	This is my day.

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
◆点字教科書 ◆パーキンスブレーラー（点字カードの作成等） ◆教科書にでるものの実物や模型

令和 8 年度 道徳科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
時間		4年 I 課程 A	
年間目標	第 1 章総則の第 1 の 2 の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学期	時数	単 元	
1 学期	1	1 ここまでもどってこれた、今がとっても幸せー池江 璃花子ー「努力するすがたから感じるもの」	
	1	2 目覚まし時計「自分でできることは自分で」	
	1	3 つながるやさしさ「相手を思いやって」	
	1	4 かわいくない? 「自分の気持ちを正しく伝える」	
	1	5 かっこいいせなか「すすんで働く」	
	1	6 ほっとけないよ「見て見ぬふりはしない」	
2 学期	1	7 プロレスごっこ「いじめをゆるさない心」	
	1	8 雨のバスでいりゆう所で「きまりがある理由」	
	1	9 どう言えばいいのかな「相手のことを気づかって」	
	1	10 守りたい自分のじょうほう「自分のじょうほうを守る」	
	1	11 心と心のあくしゅ「本当のやさしさとは」	
	1	12 また、試合しようね「大切なれいぎ」	
	1	13 命ーせいっぱい生きるー「大切な命」	
3 学期	1	14 だまっていればわからない「正直でいることの大切さ」	
	1	15 ティーボールでのできごと「自分のよさをのぼす」	
	1	16 泣いた赤おに「友達を大切に」	
	1	17 学校のれきし「感謝の心」	
	1	18 学校のじまんを大切に「よりよい学校のために」	
	1	19 絵はがきと切手「友達だからこそ」	
	1	20 人によって態度を変えるのはだめ? 「公正・公平な態度でせつする」	
	1	21 おばあちゃんとの思い出「つながり、ささえ合う命」	
	1	22 オムライス「家族でささえ合う」	
	1	23 見方を変えて前向きに「正しいことはむねをはって」	
	1	24 ○○のくせに「相手とわかり合って」	
	1	25 赤飯「日本の文化に親しむ」	
	1	26 世界の子どもたちのために「世界の人々に目を向けて」	
	1	27 受けつがれてきた命ー屋久島三代杉ー「自然のすばらしさ」	

	1	28 わかってくれてありがと「わかり合えるうれしさ」
	1	29 ブラッドレーのせいきゅう書「家族のためにできること」
	1	30 ゆうびんの父—前島 密—「目標に向かってやりぬく」
	1	31 十さいのプレゼント「言葉では表しきれない感動」
	1	32 いつも心に「ファイト!」「ありがとうの気持ちをもって」
	1	33 日本人の手でオルガンを—山葉 寅楠—「ねばり強くやりぬく」
	1	34 タイガとココア「生き物を大切にすること」
	1	35 やっぺし「地いきでのふれ合いを大切に」

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができるように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学ぶことができる。
---	--

令和8年度 総合的な学習の時間 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
35時間		4年 I 課程 A	
年間目標	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
1学期	2	調べたいことや体験したいことを見つけよう、決めよう	
	4	平和学習について調べよう（社会科と関連）	
	1	南風原町陸軍病院 20 号の壕の見学	
	3	調べたことをまとめよう	
	1	発表しよう	
2学期	2	調べたいことや体験したいことを見つけよう、決めよう	
	6	南風原町の特産品（琉球絨）について調べよう	
	1	かすり会館で体験しよう	
	2	しらべたことをまとめよう	
	1	発表しよう	
	2	お礼の手紙をかこう	
3学期	1	調べたいことや体験したいことを見つけよう、決めよう	
	4	沖縄県の特産品（やちむん）を調べよう：社会科「焼き物を生かしたまちづくり」	
	1	壺屋でやちむんに触れよう	
	2	しらべたことをまとめよう	
	1	発表しよう	
	1	1 年間のまとめ	

※沖縄の伝統文化・芸能に触れる機会を設ける。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学 習 に 必 要 な 視 覚 支 援 機 器 等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー 点字導入期に使用する。左右の親指と小指以外の6本の指で6点を打って点字を書く。書いたらすぐに指でなぞって読むことができる。 ・ライトブレイラー ・点字板と点筆 手軽に持ち運びすることができる。ノート代わりにいつでもどこでも使えます。書く時は紙の裏から点を打つ。読む字と逆に、鏡文字になるように書く。 ・ミニ点字器 ◆ディジー教科書 ・ディジーポッド ・Voice of Daisy ・イーリーダー ・UDブラウザ ・amis 上記のアプリやソフトを使用してiPadやPCで拡大教科書を見たり読んだり、聞いたりすることができる。読み上げ、マーカー、拡大や色変換などのディスプレイ調整機能があり、読み上げの速さやフォント、色合いなどを自在に変えられる。視知覚機能の弱い児童や読み書き障害のある児童にも多く活用されている。 ◆視覚障害児の漢字学習 ・盲/弱視用、小学校6学年分ある。盲児には点字で、弱視児には拡大文字で学ぶことができるように作成されている。高等教育に向けて、部首同音異義語、様々な用語や熟語の成り立ちを学ぶことができる。
---	---

年間指導計画

令和 8 年度

教科・領域	学年・課程	年間総時数	担当者
特別活動	4 年 I 課程 A	3 5 時間	

指導目標	・活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単 元
一 学 期	1	4 年生に なって
		学級の決まり、係活動、当番活動
	1	学校のみんなど仲良くなろう
	1	そうじの仕方
	1	わたしたちの学校
	1	自分をみつめよう（キャリアパスポート）
	1	健康について考えよう雨の日の過ごし方
	2	真地小、志真志小の友だちと交流しよう
	1	慰霊の日について
	1	ウォークラリー
	1	避難訓練について
	1	1 学期の振り返り（キャリアパスポート）
	1	夏休みの過ごし方
二 学 期	1	2 学期の目標（キャリアパスポート）
	1	係をきめよう
	1	読書をしよう
	2	文化祭について
	1	児童集会で発表しよう
	1	点字記念日集会
	1	校外学習について

	1	手洗いの方法を見直そう
	1	健康について考えよう
	1	居住地校交流について
	1	大掃除をしよう
	1	2学期の振り返り（キャリアパスポート）
三 学 期	1	3学期の目標（キャリアパスポート）
	1	児童会役員選挙について
	1	児童会役員選挙の準備
	1	ミニ発表会にむけて
	1	卒業生を送る会にむけて
	2	卒業式・修了式にむけて
	1	教室の掃除、整頓
	1	1年間の振り返り（キャリアパスポート）

令和8年度 国語科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
175	6年 1 課程 A	

年間目標	・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
学期	時数	単元名
1 学期 5 8	1	つないで、つないで、一つのお話
	1	準備
	1	伝わるかな、好きな食べ物 続けてみよう
	7	帰り道
	1	公共図書館を活用しよう
	3	漢字の形と音・意味
	1	春のいぶき
	6	聞いて、考えを深めよう
	1	漢字の広場①
	8	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 [情報] 主張と事例
	2	文の組み立て
	4	楽しみは
	1	天地の文
	2	[情報] 情報と情報をつなげて伝えるとき
	10	デジタル機器と私たち
	1	夏のさかり
	6	私と本 星空を届けたい
	2	せんねん まんねん
2 学期 6 3	2	いちばん大事なものは
	3	インターネットニュースを読もう
	2	文章を推敲しよう
	1	漢字の広場②
	10	やまなし 【資料】イーハトーヴの夢
	1	漢字の広場③
	3	熟語の成り立ち
	1	秋の深まり
	6	みんなで楽しく過ごすために 【コラム】伝えにくいことを伝える
	1	話し言葉と書き言葉
	2	古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう
	12	『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりょく
	2	カンジー博士の漢字学習の秘伝
	1	漢字の広場④

	6	ぼくのブック・ウーマン
	9	おすすめパンフレットを作ろう
	1	冬のおとずれ
3 学期 3 6	2	詩を朗読してしょうかいしよう
	3	知ってほしい、この名言
	2	日本の文字文化 【コラム】仮名づかい
	1	漢字の広場⑤
	7	「考える」とは
	1	使える言葉にするために
	4	日本語の特徴
	8	大切にしたい言葉
	7	今、私は、ぼくは
	7	海の命
	1	漢字の広場⑥
	6	中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか
年間	5	点字ドリル

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等		
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー	◆点字盤・点筆
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、ぬいぐるみ、点図	
◆レーズライター、ひも、プラスチック棒（漢字の構成等）	◆視覚障害児の漢字学習	
◆iPad		

令和8年度 社会科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
105	6年 Ⅰ 課程 A	

年間目標	・我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の特色や相互の関係、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。	
学期	時数	単元名
Ⅰ学期	1	大単元Ⅰ ともに生きる暮らしと政治 オリエンテーション
	11	小単元Ⅰ 憲法とわたしたちの暮らし
	7	小単元Ⅱ わたしたちの暮らしを支える政治
	1	大単元Ⅱ 日本の歴史 オリエンテーション
	7	小単元Ⅰ 国づくりへの歩み
	7	小単元Ⅱ 大陸に学んだ国づくり
	4	小単元Ⅲ 武士の政治が始まる
	4	小単元Ⅳ 室町文化と力をつける人々
Ⅱ学期	5	小単元Ⅴ 全国統一への働き
	5	小単元Ⅵ 幕府の政治と人々の暮らし
	6	小単元Ⅶ 新しい文化と学問
	6	小単元Ⅷ 明治の新しい国づくり
	9	小単元Ⅸ 近代国家を目指して
	7	小単元Ⅹ 戦争と人々の暮らし
	8	小単元Ⅺ 平和で豊かな暮らしを目指して つなげる
Ⅲ学期	1	大単元Ⅲ 世界の中の日本 オリエンテーション
	5	小単元Ⅰ 日本のつながりの深い国々
	9	小単元Ⅱ 地球規模の課題の解決と国際協力 つなげる

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等		
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー	◆点字盤・点筆
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、具体物、点図	◆iPad
◆初等地図帳(点図)・立体地図		

令和8年度 算数科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
192	6年 1 課程 A	

年間目標	・ 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 ・ 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。 ・ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1 学期	10	1 対称な図形
	7	2 分数と整数のかけ算・わり算
	6	3 円の面積
	4	4 文字を使った式
	11	5 データの活用
	6	6 角柱と円柱の体積
2 学期	11	7 分数のかけ算
	14	8 分数のわり算
	7	9 場合の数
	9	10 比
	8	11 拡大図を縮図
3 学期	14	12 比例と反比例
	3	13 およその面積や体積
	2	14 プログラミングに挑戦
	5	15 6年生のまとめ
	4	16 数学の世界へ Ⅰ
年間	67	17 振り返りの時間、テスト、図形、表などを確認する時間、珠算など

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等		
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー	◆点字盤・点筆
◆教科書に出てくるものの実物		
◆そろばん、ぶんまわし、三角定規、模型、点図、レーズライター、ひも、プラスチック棒		

令和8年度 理科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
105時間		6年 I 課程 A	
年間目標	(1) 燃焼の仕組み、水溶液や電気の性質、生物の体の働きや環境との関わり、大地の変化、月や太陽の位置関係などについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 燃焼の仕組み、水溶液や電気の性質、生物の体の働きや環境との関わり、大地の変化、月や太陽の位置関係などについて追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 (3) 燃焼の仕組み、水溶液や電気の性質、生物の体の働きや環境との関わり、大地の変化、月や太陽の位置関係などについて追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
1学期 37	3	地球と私たちの暮らし	
	9	物の燃え方と空気	
	10	動物のからだのはたらき	
	8	植物のからだのはたらき	
	7	生き物どうしのかかわり	
2学期 41	6	月の形と太陽	
	10	大地のつくり	
	6	変わり続ける大地	
	9	てこのはたらきとしくみ	
	10	電気と私たちの暮らし	
3学期 27	15	水溶液の性質とはたらき	
	10	地球に生きる	
	1	1年間をふりかえろう	
	1	理科とプログラミング	

沖縄盲学校独自の教材や教具と、学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な視覚教材や機器等	◆点字教科書 ◆点字タイプライター ・パーキンスブレイラー ・点字板と点筆 観察時のメモ、観察結果の整理、予測と結果をまとめる際に使用する。 ◆触覚教材 ・3D プリンター ・自作の触察教材 ・動物や植物のおもちゃ
----------------	--

令和8年度 音楽科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35	6年 I 課程 A	

年間目標	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	
学期	時数	単元名 ○歌唱 ◇器楽 ☆音楽づくり ♪鑑賞 (共) 共通教材
1学期	5	1 歌声をひびかせて心をつなげよう ○つばさをください ○ペガサス (共)おぼろ月夜
	6	2 いろいろな音のひびきを味わおう ♪木 星 ◇ラバーズ コンチェルト ☆ボイスアンサンブル
2学期	8	3 和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう ○星の世界 ◇雨のうた ☆「雨のうた」の和音で旋律づくり
	4	4 曲想の変化を楽しもう ○思い出のメロディー ♪ハンガリー舞曲 第5番
	2	5 詩と音楽との関わりを味わおう ♪花 ♪箱根八里(参考曲)／荒城の月(参考曲) (共)ふるさと (共)われは海の子
3学期	2	6 日本や世界の音楽に親しもう (共)越天楽今様 ♪雅楽「越天楽」(参考曲) ♪世界の国々の音楽
	8	7 音楽で思いを伝えよう ○きっと届ける ◇メヌエット ○街にだかれて
適時		※文化祭やミニ発表会、卒業式などの行事に合わせて、児童の実態を考慮しながら取り扱う楽曲を入れ替えたり加えたりする。

※日本の伝統的な音楽や郷土の音楽に触れる機会を設ける

令和8年度 図画工作 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35	6年 I 課程 A	

年間目標	・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材量や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
I 学期	4	おもしろ筆 墨と水から広がる世界
	3	光の形
	4	焼き物（文化祭に向けて ）
2 学期	2	すてきな明かり
	6	版で広がるわたしの思い（版画）
	2	わたしの大切な風景（文化祭ポスター作り）
	4	自然を感じるすてきな場所で
3 学期	4	未来のわたし
	6	卒業制作

令和8年度 体育科 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
70 時間		6 年 I 課程 A	
年間目標	(1)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2)自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。		
学期	時数	単 元	
年間を通して		集合・整列・音源移動・方向転換・準備運動・体操・基本ステップ・ランニング	
1 学期	3	体づくり運動・体ほぐしの運動 体カテスト（上体起こし、握力、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、長座体前屈、反復横跳、20mシャトルラン、50m走（ロープ走）	
	4	器械器具を使った運動（跳び箱、マット、鉄棒、雲梯） 体力を高める運動（縄跳び：長縄、短縄）	
	18	浮く運動（けのび） 水泳（バブリング、バタ足、クロールなど）	
2 学期	16	リズムダンス 表現運動	
	3	走の運動（ロープ走）	
	5	ボール運動（ゴールボール）	
	2	体力を高める運動（縄跳び：長縄、短縄）	
3 学期	3	持久走（ロープ走）	
	4	器械器具を使った運動（マット：前転、後転、とび箱：支持跳び越し）	
	4	ボール運動（ゴールボール）	
年間	8	【保健】 病気の予防	

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
◆絆（ロープ）、ロープ走・円周走用ロープ、バトン等 ◆音源（ホイッスル、スピーカー、鈴、鳴子など） ◆鈴入りボール、ゴールネット、歩行用マット

令和 8 年度 家庭科 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35	6 年 I 課程 A	

年間目標	(1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 (3) 自分と家族などとのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	
学期	時数	単元名
1 学期	2	わたしの生活時間 ①生活時間を調べよう②生活時間を工夫しよう
	5	いためてつくろう 朝食のおかず ①朝食を考えよう②いためてみよう
	2	クリーン大作戦 ①そうじのしかたを見直そう②そうじのしかたを工夫しよう
	2	暑い季節を快適に ①すずしい住まい方を工夫しよう②すずしい着方を工夫しよう③洗たくをしてみよう
2 学期	10	楽しくソーイング ①作りたい物を考えよう エプロン ティッシュカバー ②計画を立てて作ろう ③楽しく使おう
	7	くふうしようおいしい食事 ①バランスのよいこんだてを考えよう②身近な食品でおかずをつくろう ③楽しく、おいしい食事を工夫しよう
3 学期	4	共に生きる生活 ①わたしたちの生活と地域②わたしの気持ちを伝えよう③考えようこれからの生活
	3	成長したわたしたち 中学生に向かって

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等

- ◆点字教科書 ◆パーキンスブレーラー ◆点字盤・点筆 ◆定規（凹凸目盛）◆滑り止めマット
- ◆縫う位置を示す凹凸ラインテープ

令和8年度 特別な教科道徳 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
35	6年 Ⅰ課程 A	

年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	
学期	時数	単 元
Ⅰ学期	Ⅰ	1 負けずぎらいの心根をもって ―藤井 聡太―
	Ⅰ	2 プランコ乗りとピエロ
	Ⅰ	3 だまって借りてもいいのかな
	Ⅰ	4 人生を変えるのは自分 ―秦 由加子―
	Ⅰ	5 応援団の旗
	Ⅰ	6 友達だからこそ
	Ⅰ	7 ひきょうだよ
	Ⅰ	8 父の言葉
	Ⅰ	9 米百俵
	Ⅰ	10 個人の権利って？
2学期	Ⅰ	11 真琴と勇介
	Ⅰ	12 雨上がりの朝に
	Ⅰ	13 山中伸弥先生の快挙
	Ⅰ	14 青い海を取りもどせ
	Ⅰ	15 「ちょっと」の可能性
	Ⅰ	16 手品師
	Ⅰ	17 協力するってどういうこと？
	Ⅰ	18 ○○しながら
	Ⅰ	19 礼儀作法と作動
	Ⅰ	20 みんなが幸せに暮らせる社会へ
	Ⅰ	21 六千人の命のビザ ―杉原 千畝―
	Ⅰ	22 ひたすらに、自分の心に従って ―棟方 志功―
3学期	Ⅰ	23 うばわれた自由
	Ⅰ	24 あかはなそえじ
	Ⅰ	25 地球、その大いなる存在
	Ⅰ	26 究極の理想「平和」を求めて ―新渡戸 稲造―
	Ⅰ	27 その思いを受けついで
	Ⅰ	28 両親からの手紙
	Ⅰ	29 卒業に向けて
	Ⅰ	30 そこにぼくはいた
適時	Ⅰ	31 世の中のためになることをしたい ―石橋 正二郎―
	Ⅰ	32 北海道の名づけ親 ―松浦 武四郎―
	Ⅰ	33 ベトナムの人に安全な水を
	Ⅰ	34 流水とアザラシが伝えるもの
	Ⅰ	35 を得ざれば、再びこの地を踏まず ―野口 英世と母―

令和 8 年度 外国語 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
70 時間	6 年 I 課程 A	

年間目標	・ 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
学期	時数	単 元
1 学期	8	Lesson1 : This is me. 自分について発表しよう。
	8	Lesson2 : Welcome to Japan. 日本のよいところをしょうかいしよう。
	8	Lesson3 : What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。
	2	Let's Check① Questions : 新しい先生や交換留学生との出会い Let's Talk : 先生と話をしよう。
2 学期	8	Lesson4 : My summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。
	8	Lesson5 : Where do you want to go? 行きたい国のみりよくを伝え合おう。
	8	Lesson6 : My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。
	2	Let's Check② Questions : 世界の国々について伝え合おう Let's Talk : 先生と話をしよう。
3 学期	8	Lesson7 : My Dream 将来の夢を語り合おう。
	8	Lesson8 : My Junior High School Life 中学校生活でしたいことやがんばりたいことを伝えよう。
	2	Let's Check③ Questions : 卒業を前に Let's Talk : 先生と話をしよう。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等
◆点字教科書 ◆パーキンスブレーラー（点字カードの作成等） ◆教科書にでるものの実物や模型

令和 8 年度 総合的な学習の時間 年間指導計画

年間総時数	学年・課程・人数	担当者
49	6 年 Ⅰ 課程 A	

年間目標	・探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。 ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	
学期	時数	単元名
Ⅰ 学期	1	今年度の総合学習について考えよう
	7	情報発信について考えよう 調べよう
	7	将来の仕事について考えよう①キャリア教育
	1	真地小交流に向けて
2 学期	10	修学旅行に向けて ②キャリア教育
	7	職場見学へいこう
	1	居住地校交流にむけて
3 学期	1	北丘小交流に向けて
	7	沖縄の文化を調べよう 体験しよう／美ら海を守るために／
	4	将来の仕事について考えよう③キャリア教育
	3	オンライン授業 山梨盲学校

※沖縄の伝統文化・芸能にふれる機会を設ける。

支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等		
◆点字教科書	◆パーキンスブレーラー	◆点字盤・点筆
◆教科書に出てくるものの実物	◆模型、具体物、点図	◆iPad

令和 8 年度 特別活動 年間指導計画

年間総時数		学年・課程	担当者
35 時間		6 年 I 課程 A	
年間目標	活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単 元	
1 学期	2	6 年生に なって 年間行事予定 1 学期の目標 (キャリアパスポート)	
	1	新しい友達を迎える会	
	1	創立記念日集会	
	1	防災訓練事後学習	
	2	5 月児童集会におきて／児童総会	
	1	平和講話	
	1	6 月児童集会	
	1	7 月児童集会・夏休みの過ごし方	
	1	1 学期の振り返り (キャリアパスポート)	
2 学期	1	2 学期の目標 (キャリアパスポート)	
	1	9 月児童集会	
	3	修学旅行におきて	
	2	文化祭におきて	
	1	10 月児童集会	
	1	点字記念日集会	
	1	文化祭りハーサル	
	1	総合防災避難訓練事後学習	
	1	11 月児童集会	
	1	12 月児童集会・冬休みの過ごし方	
	1	2 学期の振り返り (キャリアパスポート)	

3 学 期	1	3学期の目標（キャリアパスポート）
	1	1月児童集会
	1	2月児童集会 児童会役員選挙について
	2	児童会役員選挙の準備 / 児童会役員選挙
	2	ミニ発表会において
	1	卒業生を送る会
	1	卒業式において
	1	3学期、1年間の振り返り（キャリアパスポート）

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【全盲版】

学習に必要な支援機器等		
◆パーキンスブレーラー	◆点字盤・点筆	◆iPad

令和8年度 生活科 II課程B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
350		3年2組 II課程B			
年間目標		・教師と一緒に、具体的な活動や直接体験を通して、生活に必要な習慣や技能などに気付けるようにする。 ・教師と一緒に身近な人々，社会及び自然の特徴や変化に気づき、感じたことを表現しようとする。 ・教師と一緒に、自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々に自ら働きかけようとしたり意欲を持って学び、生活に生かそうとする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	350	ア 基本的生活習慣 (知及技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。【Ⅰ段階ア(1)】 (思判表力) 簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行動することができる。【Ⅰ段階ア(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】 ウ 日課・予定 (知及技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。【Ⅰ段階ウ(1)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとするすることができる。【Ⅰ段階ウ(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度	(知・技) 生活に必要な動作や習慣を身に付けている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、基本的な方法や一連の流れに気付いている。 (主・学) 自分に必要なことに自ら取り組もうとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりしている。	単元Ⅰ 「一人でできるもん」 	

	度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】 オ 人との関わり（エ遊びを含む） （知及技） 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。【Ⅰ段階オ(1)】 （思判表力） 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとするができる。【Ⅰ段階オ(ア)】 （学・人） 身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】 カ 役割（キ 手伝い・仕事含む） （知及技） 集団の中での役割に関心をもつことができる。【Ⅰ段階カ(1)】 （思判表力） 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとするができる。【Ⅰ段階カ(ア)】 （学・人） 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】	（知・技） 身の回りの人と関わりを持つことに関心をもっている。 （思・判・表） 身の回りにいる人の存在に気付き、挨拶など初歩的な関わりを経験している。 （主・学） 身の回りの人に自分から進んでかかわろうとしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしている。	単元 3 「気持ちを伝えよう」 単元 4 「自分の役割に取り組もう」	朝（帰り）の会 季節行事 挨拶遊び 交流及び共同学習 勤労感謝の日 児童会活動 日直 清掃活動
--	---	---	--	---

		ケ きまり（イ 安全含む） （知及技） 簡単なきまりについて関心をもつことができる。【Ⅰ段階ケ(イ)】 （思判表力） 身の回りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとすることができる。【Ⅰ段階ケ(ア)】 （学・人） 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】	（知・技） 簡単なきまりについて行動しながら学ぶ経験を重ねている。 （思・判・表） 教師からの言葉掛けや合図などを聞いて、きまりを守って行動しようとしている。	単元5 「きまりやマナーを守ろうね」	自分の物と他人の物の区別 学校のきまり 日常生活のきまり 食事のマナー 避難訓練 交通安全 遊びのきまり
		コ 社会の仕組みと公共施設（ク 金銭の扱い含む） （知及技） 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【Ⅰ段階コ(イ)】 （思判表力） 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 【Ⅰ段階コ(ア)】 （学・人） 身近な人々や社会に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【Ⅰ段階ウ】	（知・技） 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方を学ぶ経験を重ねている。 （思・判・表） 体験活動を通して感じたことを、教師と一緒に自分なりの方法で伝えようとしている。 （主・学） 身近な人々や社会に自ら働きかけようしたり、意欲を持って学んだりして、安定した気持ちで生活している。	単元6 「いろいろな場所を知ろう」	勤労感謝の日 校外学習（公共施設・交通機関） 交流及び共同学習 学校（教室の名称や用途）

		サ 生命・自然 (知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。【１段階サ(イ)】 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなにつたえようとする事ができる。【１段階サ(ア)】 (学・人) 自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【１段階ウ】	(知・技) 身近な自然の中で遊んだり、身近な動植物に触れたりする体験活動をしている。 (思・判・表) 体験活動を通して、感じたことを教師と一緒に自分なりの方法で伝えようとしている。 (主・学) 自然に自ら働きかけようしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしている。	単元 7 「身近な生き物や自然を知ろう」	季節の変化と生活 自然観察 栽培学習 校外学習 給食
--	--	---	---	---------------------------------	---

※沖縄の伝統文化・芸能にふれる機会を設ける。

令和8年度 国語科 II課程B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
117		3年2組 II課程B			
年間目標		・教師や身近な人の言葉かけに慣れたり、遊びを通して、言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉のもつ楽しさに気付く。 ・言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で自分の思いを持つことができるようにする。 ・教師と一緒に、言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	117	A 聞くこと・話すこと (知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる【1段階ア(ア)】 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる【1段階ア(イ)】 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる【1段階イ(ア)】 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる【1段階イ(イ)】 (思判表力) 身近な人からの読み聞かせや話し掛けに注目し、応じて表現することができる【1段階 AI】 伝えたいことを思い	(知・技) 身近な人の話し掛けに耳を傾け、言葉と事物を一致させたり、自分なりの表現を繰り返す中で要求が相手に伝わり、心地よい感情を持ったりしている。 様々な言葉を聞いたり、音声の高低や抑揚などの違いによる意味の違いに触れたりしている。また、声を出す、手を叩いて体感する、実際の事物に触るなどして、言葉と事物を結び付けている。 物語やわらべ歌、言葉遊びなどを通して、これらの独特な語り口調や言い回しに含まれる言葉の響きやリズムを感じ、具体物に触ったり、教師と一緒に動作化したりしている。 応答遊びや音まね・声まね遊びなど、声や言葉を使った遊びや関わりなどを通して、歌ったり動作化したりするなどして、言葉のリズムや響きを体感し、楽しんでいる。	単元1 「たくさん話そう」 単元2 「読みきかせ」 単元3 「触ってみよう」	・朝の会 ・帰りの会 ・読み聞かせ ・言葉遊び ・ミニ発表会に向けて
			体験したことなどについて		

	浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【１段階Ａウ】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。【１段階ウ】 B 書くこと (知及技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【１段階イ(ウ)㊦】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について伝えたいことを思い浮かべ、触ったり選んだりすることができる。【１段階Ｂア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。【１段階ウ】 C 読むこと (知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【１段階Ｃア】 (思判表力) 読み聞かせを聞いたり、絵本などを触ったりして、次の場面を楽しみにしたり、教師と一緒に言葉や動作などを模倣したりすることができる。【２段階Ｃアエ】 (学・人) 言葉で表すことやそ	て、伝えたいことを思い浮かべ、表情や身振り、音声などで自分なりに表現している。 (主・学) 発語などによって、意思を伝えられることや自分の思いが達成されたことに喜びを感じている。 (知・技) いろいろな筆記具を用いて、線を楽しく書いている。 (思・判・表) 体験したことを、具体物に触って伝えることができる。 (主・学) 言葉と具体物を結び付けたり、具体物を用いて自分なりに言葉表現したりすることを楽しんでいる。 (知・技) 教師の声や動作、効果音や台詞などに関心を持ったり、絵本などを触ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、読み聞かせを聞いたり、絵本などを触ったりして、言葉の持つ音やリズム、動作やイメージを感じ取り、次の場面を期待したり、教師と一緒に言葉や動作などを模倣したりしている。 (主・学) 言葉と具体物を結び付けた	
--	---	--	--

		の良さを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。 【２段階ウ】	り、具体物を用いて自分なりに言葉表現したりすることを楽しんでいる。		
--	--	---	--	--	--

令和8年度 算数科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
4 2		3 年 2 組 II 課程 B			
年間目標		・ものの有無に気付き、具体物に気付いて探したり、つかもうとしたりする。 ・身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。 ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもって算数の学習に取り組もうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	4 2	A 数量の基礎 (知及技) 具体物に気付いて指をさしたり、つかもうとしたり、探したりすることができる。【Ⅰ段階 A ア(ア)㊦㊧】 (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。【Ⅰ段階 A ア(イ)㊦】 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとすることができる。【Ⅰ段階 A ウ】	(知・技) 様々なものの中から、対象物を見たり、触ったり、音を聴いたりして探している。 (思・判・表) 対象物を探す活動を通して、視線をはじめとする動作と触覚等の感覚とを協応させながら働きかける対象として事物を捉えている。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組んでいる。	単元 1 「これなあに？」 単元 2 「お宝さがしゲーム」 単元 3 「朝の会」	物を触ったり、握ったりする。 教師の話や読み聞かなどを聞いて、話に出てきた物と同じ物を取る。 具体物を触ったり、見たり、音を聴いたりして探す。 今日の日付や曜日を復唱したり、時間割の数字の数を手で叩いたりする。
		B 数と計算 (知及技) ものの有無や 3 までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わるすることができる。【Ⅰ段階 A ア(ア)㊦】 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりすることができる【Ⅰ段階 B イ】 (学・人) 数量に気付き、算数の	(知・技) 具体物を 1 個ずつ別の容器に入れていくなどの活動を通して、「ある」「ない」に気付いて表現している。 (思・判・表) 数のまとまりや数え方に気付き、数詞とものの数との関係について関心を持っている。 (主学) 日常生活の中で数を用いて	単元 4 「みんなで遊ぼう」 単元 5 「何番目？」 単元 6 「触ってみよう」	教師と一緒に数えながら、手や楽器を鳴らす。 玉入れやボウリングなどのゲームを通して数を数えたり、順番を確認したりする。 物の輪郭に沿って触る。 線や図形の触察をする。 教師の言葉かけを聞いて、手指を動かしながら、前後、上

		学習に関心をもって取り組もうとすることができる。【Ⅰ段階Ｂウ】 C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じてかわることについての技能を身に付けることができる。【Ⅰ段階Ｃア】 (思判表力) 身の回りにあるものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。 【Ⅰ段階Ｃイ】 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。【Ⅰ段階Ｃウ】 D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量にかかわることについての技能を身に付けることができる。【Ⅰ段階Ｄア】 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力を養う。【Ⅰ段階Ｄイ】 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。【Ⅰ段階Ｄウ】	表現することの楽しさやよさを感じている。 (知・技) 具体物に注目して、つかもうとしたり、色々な触り方をしたりしている。 (思・判・表) 様々なものの中から、興味のあるものを取り出している。 (主学) 日常生活の中で図形を用いて表現することの楽しさやよさを感じている。 (知・技) ものの有無や、大小、多少、長短などが異なる二つの具体物について、違いを感じる活動をしている。 (思・判・表) ものの有無や、大小、多少、長短などが異なる二つの具体物について、違いに気付き、自分なりに表現している。 (主学) 日常生活の中で数量や図形を用いて表現することの楽しさやよさを感じている。	単元 7 「形遊び」 下、左右などの位置関係を表す言葉を知る。 身の周りにある物の長さや大きさ、重さを触って比べる。教師と一緒に「長い、短い」「大きい、小さい」「多い、少ない」「思い、軽い」などの言葉を使いながら物を触る。 円や三角、四角などの形を教師と一緒に分類する。 型はめをする。
--	--	--	--	---

令和8年度 音楽科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
70		3年2組 II課程B			
年間目標		(知・技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。 (思・判・表) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する。	70	A 表現 【音楽遊び】 (知識) ・表現する音や音楽に気付く 【第一段階(イ)】 (技能) 身体表現 ・音や音楽を感じて体を動かす技能 【第二段階(ウ)ア】 楽器 ・音や音楽を感じて楽器の音を出す技能 【第二段階(ウ)イ】 歌唱 ・音や音楽を感じて声を出す技能 【第二段階(ウ)ウ】 音楽づくり ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。 【第二段階(ア)ア】	・表現する音や音楽に気付いている。 ・音や音楽を感じて体を動かしている。 ・音や音楽を感じて楽器の音を出している。 ・音や音楽を感じて声を出している。 ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。	「きいてみよう」 「体を動かそう」 「鳴らしてみよう」 「声を出そう」 「うたってみよう」 「好きなように楽器を鳴らそう」 「好きな音色を見つけよう」	【歌唱】 ・校歌 ・春がきた ・ぶんぶんぶん ・かたつむり ・かえるのがっしょう ・犬のおなか ・虫の声 ・タヤケコヤケ等 【身体表現】 ・ひらいたひらいた ・さんぽ ・かもつれっしょ ・じゃんけんぽん ・はしの上で ・しろくまのジェンガ ・セブンステップ ・子犬のビンゴ ・ドレミのうた ・あんたがたどこさ ・ずいずいずっころばし等 【楽器】 ・鍵盤ハーモニカ ・ハーモニカ ・どれみであいさつ

		B 鑑賞 (思判表力) ・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする事。 【第一段階 (ア)】 (知識) ・聴こえてくる音や音楽に気付くこと 【第一段階 (イ)】	・音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとしている。 ・聴こえてくる音や音楽に気付いている。	「音楽を聞いて、楽器を鳴らそう」 「自分なりに表現しよう」 「色々な楽曲を聴こう」	【鑑賞】 ・子犬のビンゴ ・ミッキーマウスマーチ ・メヌエット ・シンコペーテッドクロック ・とうしんドーイ ・だがっきパーティー 等
--	--	--	--	--	--

※日本の伝統的な音楽や郷土の音楽にふれる機会を設ける。

令和８年度 II 課程 B 体育科 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
70		3 年 2 組 II 課程 B			
年間目標		・教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、運動体験を通して興味関心を広げ、体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。 ・教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを表現したり、健康な生活を営むために必要な事柄をしたりすることができるようにする。 ・教師と一緒に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	70	[A 体づくり運動遊び] (知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かす。 【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとする。【Ⅰ段階ウ】 [F 表現遊び] (知及技) 教師と一緒に、音楽が流れている場所で楽しく体を動かす。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。 【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。【Ⅰ段階ウ】	[A 体づくり運動遊び] (知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かしている。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとしている。 【Ⅰ段階ウ】 [F 表現遊び] (知及技) 教師と一緒に、音楽が流れている場所で楽しく体を動かしている。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。【Ⅰ段階ウ】	「体育館を歩こう」 「運動場を歩こう」 	

1 学期	14	〔D 水遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しむ。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。【1段階ウ】	〔D 水遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しんでいる。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。【1段階ウ】	「水遊びをしよう」 「プールに入って浮いてみよう」	・水遊び ・プール など
2 学期	32	〔C 走・跳の運動遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、歩いたり走ったり、跳んだりして楽しく体を動かす。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に歩いたり走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。【1段階ウ】 〔E ボール遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かす。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒にボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、ボ	〔C 走・跳の運動遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、歩いたり走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に歩いたり走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。【1段階ウ】 〔E ボール遊び〕 (知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。【1段階ア】 (思判表力) 教師と一緒にボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【1段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを	「みんなで歩こう、走ろう」 「ウォーカーを使って歩こう」 「トランポリンで弾もう」 「友達とボール渡しをしよう」 「ボールを転がそう」 「ボウリングをしよう」	・ウォーカーで歩く ・トランポリン ・ボール渡し ・ボール転がし ・ボウリング など

		ール遊びをしようとする。【Ⅰ段階ウ】	しようとしている。【Ⅰ段階ウ】		
3 学期	24	[B 器械・器具を使っての遊び] (知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かす。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。【Ⅰ段階ウ】	[B 器械・器具を使っての遊び] (知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。【Ⅰ段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。【Ⅰ段階ウ】	「マットの上で自由に動こう」 「マットの上で横転がりをしよう」 「肋木を掴もう」	・マット ・肋木 など

令和8年度 図画工作科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
5 I		3 年 2 組 II 課程 B			
年間目標		○教師と一緒に形や素材などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 ○教師と一緒に、表したいことを選んだり、作品や素材に触ったりすることができるようにする。 ○教師と一緒に、表したり触ったりする活動に取り組み、つくりだす楽しさに気付き、楽しい生活を創造しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	5 I	[A 表現] (知及技) 形や素材などに気付き、教師と一緒に材料や用具を使う。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に表したいことを選んだり、素材や作品に触ったりする。 【Ⅰ段階イ】 (学・人) 進んで表したり、触ったりする活動に取り組み、創り出すことの楽しさに気付こうとする。 【Ⅰ段階ウ】 [B 鑑賞] 身の回りにあるものなどを触る。	[A 表現] (知及技) 形や素材などに気付き、教師と一緒に材料や用具を使っている。【Ⅰ段階ア】 (思判表力) 教師と一緒に表したいことを選んだり、素材や作品に触ったりしている。 【Ⅰ段階イ】 (学・人) 進んで表したり、触ったりする活動に取り組み、創り出すことの楽しさに気付こうとしている。 【Ⅰ段階ウ】 [B 鑑賞] 身の回りにあるものなどを触ろうとしている。	「手形をとろう」 「家族へのプレゼントをつくろう」 「七夕飾りをつくろう」 「運動会の道具をつくろう」 「クリスマス飾りを創ろう」 「餅の感触を思い出そう」 「鬼のお面をつくろう」	・目標作り ・プレゼント作り ・季節の飾り作り ・季節に関するものの触察 ・自分や友達の作品鑑賞

令和8年度 II 課程 B 外国語活動 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
35		3年2組 II 課程 B			
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝える力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	35	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じることができる。 (学・人) 外国語への関心を高め、コミュニケーションを図ることができる。	(知・技) 英語での挨拶の仕方や名前の言い方や感情や状態を表す語や表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 (思・判・表) 音楽を聴いたり、外国語での簡単な単語や挨拶などを聴いたりすることを通して、自分の気分などについて声や表情で表現する。 (主学) ・ハロウィンやクリスマスなどの外国の行事を知り、外国語に親しみながら、楽しく行事に参加する。 ・外国の歌やダンスに親しみ、自分なりに歌ったり身体を動かしたりして活動に楽しく参加しようとする。	・あいさつしよう Hello ! ・気分を伝えよう How are you ごきげんいかが？ ・ダンス(ABC ダンス・Head Shoulders,Knees,AndToes ダンス ・Hallo ソング ・collar(色) ・shape(形) ・今日は何曜日 ・I like mondays すきな曜日はなにか ・へんじをしよう ・すきなものはなに What do you like ? ・きょうのてんきは How is the weather today? ・かずをおぼえよう How many? かぞえてあそぼう ・ハロウィン ・クリスマス ・世界の行事を知ろう！ Let’ s take about global events! ・えいごでダンス ・Which~,A or B?	・時間による挨拶の表現の違いや気分の違いによる表現に親しむ。 ・自分の今日の気分について、声や表情で表現する。 ・外国語のダンスや歌を通して外国語に慣れ親しむ活動を取り入れる。

令和8年度 特別の教科 道徳 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名
35		3年2組 II 課程 B		
年間目標		・身の回りの生活や人との関わりにおける道徳的な価値について考え、自分の生活や周りの人によりよく関わり生活するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができる。(指導要領 P.17～20 参考)		
学期	時数	目標	主題	活動内容
年間を通して指導する	35	A 主として自分自身に関すること 【節度、節制】 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をするができる。 【希望と勇気、努力と強い意志】 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことができる。 B 主として人との関わりに関すること 【親切、思いやり】 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることができる。 【礼儀】 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することができる。 C 主として集団や社会との関わりに関すること 【規則の尊重】 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることができる。 【よりよい学校生活、集団生活の充実】 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることができる。 【伝統と文化の尊敬、国や郷土を愛する態度】 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	主題1 「一人でできるもん」	排泄 着替え 給食準備 給食 歯磨き 洗面
			主題2 「気持ちを伝えよう」	朝（帰り）の会 季節行事（母の日、父の日、敬老の日、勤労感謝の日） 挨拶 遊び 交流及び共同学習
			主題3 「自分の役割に取り組もう」	児童会活動 日直 清掃活動
			主題4 「きまりやマナーを守ろうね」	自分の物と他人の物の区別 学校のきまり 日常生活のきまり 食事のマナー 避難訓練 交通安全 遊びのきまり
			主題5 「身近な生き物や自然を知ろう」	季節の変化と生活 自然観察 栽培学習 校外学習 給食

		D 主として生命や自然、崇高なものとの 関わりに関すること 【自然愛護】 身近な自然に親しみ、動植物に優しい 心で接することができる。		
--	--	--	--	--

令和 8 年度 生活科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
350		6 年 II 課程 B			
年間目標		・ 具体的な活動や直接体験を通して、生活必要な習慣や技能を身に付けようとする事ができる。 ・ 自分のことや身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付き、感じたことを伝えようとする事ができる。 ・ 自分のことを取り組もうとしたり身近な人々に自ら働きかけようとしたりして、意欲や自信をもって学び、生活に生かそうとする態度を養う事ができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	368	ア 基本的生活習慣 (知及技) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 【2段階(イ)】 (思判表力) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事ができる。【2段階(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【2段階ウ】 ウ 日課・予定 (知及技) 身近な日課・予定について知ることができる。【2段階(イ)】 (思判表力) 教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとする事ができる。【2段階(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって	(知・技) 日常の様々な機会に行う基本的な身辺処理の知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (主・学) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりしている。 (知・技) 教師の働きかけを受け、次に何をするのが分かる。 (思・判・表) 次に何をするのが分かり、日課に沿って、できるだけ一人で行動しようとしている。 (主・学) 自分のことに取り組もうとしたり、自ら様々な対象に働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりしてい	単元 1 「一人でできるもん」 	

	学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【2段階ウ】 オ 人との関わり (知及技) 身近な人との接し方について知ることができる。【2段階(イ)】 (思判表力) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとするすることができる。【2段階(ア)】 (学・人) 身近な人に自ら働きかけようとしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【2段階ウ】 カ 役割 (知及技) 簡単な係活動について知ることができる。【2段階(イ)】 (思判表力) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとするすることができる。【2段階(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【2段階ウ】 ケ きまり (知及技) 簡単なきまりやマナ	る。 (知・技) 身近な人への適切な関わり方を知ろうとしている。 (思・判・表) 身近な人へ自分から挨拶などの関りを持とうとしている。 (主・学) 身近な人に自ら働きかけようとしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしている。 (知・技) 集団活動では様々な役割があることや最後まで取り組むことの大切さに気付いている。 (思・判・表) 友達と一緒に活動に取り組んだり、協力して役割を果たしたりしている。 (主・学) 集団活動の役割を果たす喜びを感じながら、積極的に取り組もうとしている。 (知・技) 簡単なきまりやマナーにつ	単元3 「気持ちを伝えよう」 単元4 「自分の役割に取り組もう」 単元5 「きまりや	朝（帰り）の会 季節行事 挨拶 遊び 交流及び共同学習 勤労感謝の日 児童会活動 日直 清掃活動 自分の物と他人の物の区別
--	--	---	---	--

	ーについて知ることができる。【２段階(イ)】 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとするができる。 【２段階(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【２段階ウ】 コ 社会の仕組みと 公共施設 (知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。【２段階(イ)】 (思判表力) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 【２段階(ア)】 (学・人) 身近な人々や社会に自ら働きかけようしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。【２段階ウ】 サ 生命・自然 (知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。【２段階(イ)】 (思判表力) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、そ	いて知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒にきまりやマナーを守って行動しようとしている。 (主・学) きまりやマナーについて意欲を持って学んだり、共同生活に生かそうとしたりしている。 (知・技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ろうとしている。 (思・判・表) 公共施設や交通機関の場所や名称、およその働きなどについて自分なりの方法で伝えようとしている。 (主・学) 身近な人々や社会に自ら働きかけようしたり、意欲を持って学んだり、生活に生かそうとしている。 (知・技) 身近な生命や自然について知ろうとしている。 (思・判・表) 自然の事物や事象に興味や関心を持ち、感じたことや気	マナーを守ろうね」 単元６ 「いろいろな場所を知ろう」 単元７ 「身近な生き物や自然を知ろう」	学校のきまり 日常生活のきまり 食事のマナー 避難訓練 交通安全 遊びのきまり 勤労感謝の日 校外学習（公共施設・交通機関） 交流及び共同学習 学校（教室の名称や用途） 季節の変化と生活 自然観察 栽培学習 校外学習 給食
--	---	---	--	--

		れらを表現しようとする ことができる。 【２段階(ア)】 (学・人) 自然に自ら働きかけ ようしたり、意欲を持っ て学んだり、生活に生か そうしたりする態度 を養うことができる。 【２段階ウ】	付いたことなどを自分なりの 方法で伝えようとしている。 (主・学) 自然に自ら働きかけようし たり、意欲を持って学んだり、 生活に生かそうとしている。		
--	--	---	--	--	--

※沖縄の伝統文化・芸能に触れる機会を設ける。

令和 8 年度 国語科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
116		6 年 II 課程 B			
年間目標		・ 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や言語文化に触れることができるようにする。 ・ 日常生活における人との関わりの中で自分の思いをもち、伝え合うことができるようにする。 ・ 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたリ伝えたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	116	A 聞くこと・話すこと (知及技) 言葉が気持ちや要求を表していることを感じることができる。【2段階ア(ア)】 物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。【2段階ア(ウ)】 (思判表力) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。【2段階 A イ】 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。【2段階 A ウ】 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたリ伝えたりしようすることができる。【2段階ウ】 B 書くこと (知及技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。	(知・技) 気持ちや要求などが相手に伝わる経験を重ね、言葉が気持ちや要求を表していることを感じている。 物の名前や動作など、いろいろな言葉に触れている。 (思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしている。 体験したことなどについて、伝えたいことを思い浮かべ、選択、動作化、言語化など、自分なりに表現しようとしている。 (主・学) 言葉で表すことに関心を持って聞いたリ、自分なりに表現したりすることを楽しんでいる。 (知・技) いろいろな筆記具を用いて、線を楽しく書いている。	単元 1 「たくさん話そう」 単元 2 「読みきかせ」 単元 3 「触ってみよう」	・ 朝の会 ・ 帰りの会 ・ 読み聞かせ ・ 言葉遊び ・ ミニ発表会に向けて

		【２段階イ(ウ)㉗】 (思判表力) 自分の名前や物の名前、伝えたいことなどを、触ったり選んだりすることができる。 【２段階Ｂアイ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとすることができる。【２段階ウ】 C 読むこと (知及技) 教師と一緒に絵本などを見たり触ったりすることができる。【２段階Ｃアエ】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見たり触ったりして、動作を思い浮かべたり、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 【２段階Ｃアエ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとすることができる。 【２段階ウ】	(思・判・表) 自分の名前や物の名前、伝えたいこと等の写真やカードなどを触ったり選んだりしている。 (主・学) 言葉と具体物を結び付けたり、具体物を用いて自分なりに言葉表現したりすることを楽しんでいる。 (知・技) 教師と一緒に絵本などを見たり触ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見たり触ったりして、動作を思い浮かべたり、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしている。 (主・学) 言葉と具体物を結び付けたり、具体物を用いて自分なりに言葉表現したりすることを楽しんでいる。		
--	--	---	---	--	--

令和 8 年度 算数科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
78		6 年 II 課程 B			
年間目標		・ 10 までの数的要素に気付き、教師と一緒に、数唱したり、具体物を取ったりする。 ・ 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、探したり、選んだりする。 ・ 身の回りにあるものの数や形に注目し、数を数えたり、形を分類したりする力を養う。 ・ 教師と一緒に、数や形に気付いて、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	79	A 数量の基礎 (知及技) 具体物に気付いて指をさしたり、つかもうとしたり、探したりすることがができる。【1 段階 A ア(ア)㉠㉡】 (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。【1 段階 A ア(イ)㉢】 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとすることができる。【1 段階 A ウ】	(知・技) 様々なものの中から、対象物を見たり、触ったり、音を聴いたりして探している。 (思・判・表) 対象物を探す活動を通して、視線をはじめとする動作と触覚等の感覚とを協応させながら働きかける対象として事物を捉えている。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組んでいる。	単元 1 「これなあに？」 単元 2 「お宝さがしゲーム」 単元 3 「朝の会」	物を触ったり、握ったりする。 教師の話や読み聞かなどを聞いて、話に出てきた物と同じ物を取る。 具体物を触ったり、見たり、音を聴いたりして探す。 今日の日付や曜日を復唱したり、時間割の数字の数を手で叩いたりする。
		A 数と計算 (知及技) 10 までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつことができる。【2 段階 A ア(ア)㉣㉤】 (思判表力) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現することができる。【2 段階 A イ】 (学・人) 数量に関心を持ち、算数	(知・技) 10 までの数の範囲において、二つの数を比べ、数の大小が分かったり、何も「ない」状態を「0」で表すことが分かったりしている。 (思・判・表) 数詞とももの数との関係が分かり、学習や生活の中において、数を数えたり、比べたり、表現したりすることに興味をもっている。 (主学) 日常生活の中で数を用いて	単元 4 「みんなで遊ぼう」 単元 5 「何番目？」	教師と一緒に数えながら、手や楽器を鳴らす。 玉入れやボウリングなどのゲームを通して数を数えたり、順番を確認したりする。

	で学んだことの楽しさよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。【２段階Ａウ】 B 図形 (知及技) 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりする活動を通して、図形の違いが分かるための技能を身に付けることができる。【２段階Ｂア】 (思判表力) 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付くことができる。【２段階Ｂイ】 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。【２段階Ｂウ】 C 測定 (知及技) 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることができる。【２段階Ｃア】 (思判表力) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べることができる。【２段階Ｃイ】 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。【２段階ウ】	表現することの楽しさやよさを感じている。 (知・技) 色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目して分類している。 身の回りのものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知っている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形に関心向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 (主学) 日常生活の中で図形を用いて表現することの楽しさやよさを感じている。 (知・技) 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさを感じ、二つの量の大きさを比べ、大きさを表す用語と結び付けている。 (思・判・表) 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりしている。 (主学) 日常生活の中で数量や図形を用いて表現することの楽しさやよさを感じている。	単元６ 「触ってみよう」 単元７ 「形遊び」 単元８ 「比べてみよう」	物の輪郭に沿って触る。 線や図形の触察をする。 教師の言葉かけを聞いて、手指を動かしながら、前後、上下、左右などの位置関係を表す言葉を知る。 円や三角、四角などの形を教師と一緒に分類する。 型はめをする。 身の周りにある物の長さや大きさ、重さを触って比べる。 教師と一緒に「長い、短い」「大きい、小さい」「多い、少ない」「重い、軽い」などの言葉を使いながら物を触る。
--	--	---	--	--

令和 8 年度 音楽科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
70		6 年 II 課程 B			
年間目標		(知・技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思・判・表) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する。	105	A 表現 【歌唱】 (知識) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付く ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付く【二段階 (イ)】 (技能) ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能 ・自分の歌声に注意を向けて歌う技能 ・教師や友達と一緒に歌う技能 (思考判断表現) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。 【第二段階 (ア)】 【器楽】 (知識) ・拍や曲の特徴的なリズム に気付く 【第二段階 (ア)】 ・楽器の音色の違いに気付く 【第二段階 (イ)】	・曲の特徴的なリズム、旋律に気付いている。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱しようとしている。 ・自分の歌声に注意を向けて歌おうとしている。 ・教師や友達と一緒に歌おうとしている。 ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつ。 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 ・楽器の音色の違いに気付いている。	「うたって おどって なかよくなる う」 「うたってみよう」 「どんな音がするのか な」 「ドの音で遊ぼう」 「ドレミの音で遊ぼう」 「めざせ、楽器名人」	【歌唱】 ・校歌 ・春がきた ・ぶんぶんぶん ・かたつむり ・かえるのがっしう ・犬のおなか ・虫の声 ・タヤケコヤケ 等 【身体表現】 ・ひらいたひらいた ・さんぽ ・かもつれっしょ ・じゃんけんぽん ・はしの上で ・しろくまのジェンガ ・セブンスステップ ・子犬のビンゴ ・ドレミのうた ・あんたがたどこさ ・ずいずいずっころばし 等 【楽器】 ・鍵盤ハーモニカ ・ハーモニカ ・どれみであいさつ

		(技能) ・ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能 ・ 身近な打楽器を演奏する技能 ・ 教師や友達と一緒に演奏する技能 【第二段階 (ウ)】 (思判表現力等) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な 打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと 【第二段階 (ア)】 【音楽づくり】 (知識) ・ 声や身の回りの様々な音の特徴が生み出す面白さに気付く。 ・ 音のつなげ方の特徴の面白さに気付く。 【第二段階 (イ)】 (技能) ・ 音を選んだりつなげたりして表現する技能 ・ 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる 【第二段階 (ウ)】 (思判表力) ・ 音遊びを通して、音の面白さに気付く ・ 音や音楽で表現することについて思いをもつ 【第二段階 (ア)】	・ 範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。 ・ 身近な打楽器をしようとしている。 ・ 教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な 打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 ・ 声や身の回りの様々な音の特徴が生み出す面白さに気付いている。 ・ 音のつなげ方の特徴の面白さに気付いている。 ・ 音を選んだりつなげたりして表現している。 ・ 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくろうとしている。 ・ 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 ・ 音や音楽で表現することについて思いをもとうとしている。	「いい音 みつけて」 「おとの スケッチ」 「みんなで 合わせて」 「身の 回りの 音に 耳を すまそう」	【鑑賞】 ・ 子犬のビンゴ ・ ミッキーマウスマーチ ・ メヌエット ・ シンコペーテッドクロック ・ とうしんドロー ・ だがっきパーティー 等
--	--	---	--	--	---

令和年 8 度 図画工作科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
51		6 年 II 課程 B			
年間目標		・形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、 表し方を工夫してつくるようにする。 ・表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ 取ったりすることができるようにする。 ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとと もに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	[A 表現] (知及技) ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や素材に気付く。 ・身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりする。 【2段階イ】 (思判表力) ・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 【2段階ア】 (学・人) ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じる。 【2段階ウ】 [B 鑑賞] ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。	[A 表現] (知及技) ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や素材に気付いている。 ・身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。 (思判表力) ・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付いている。 【2段階ア】 (学・人) ・進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じ、楽しく活動している。 【2段階ウ】 [B 鑑賞] ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	「手形をとろう」 「家族へのプレゼントをつくろう」 「七夕飾りをつくろう」 「運動会の道具をつくろう」 「クリスマス飾りを創ろう」 「餅の感触を思い出そう」 「鬼のお面をつくろう」	・目標作り ・プレゼント作り ・季節の飾り作り ・季節に関するものの触察 ・自分や友達の作品鑑賞

令和 8 年度 体育科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
70		6 年 II 課程 B			
年間目標		・教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 ・体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 ・簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導	70	[A 体づくり運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をする。【2段階ア】 (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、基本的な体づくり運動をしようとする。【1段階ウ】【2段階ウ】	[A 体づくり運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をしている。【2段階ア】 (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、基本的な体づくり運動をしようとしている。【1段階ウ】【2段階ウ】	「体育館を歩こう」 「運動場を歩こう」	・ウォーカーなどで歩く ・ラジオ体操 ・リトミック ・ダンス など
		[F 表現運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をする。【2段階ア】 (思判表力) 基本的な表現運動になれ、その楽しさや感じたことを表現する。【2段階イ】 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、教師や友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。【1段階ウ】【2段階ウ】	[F 表現運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしている。【2段階ア】 (思判表力) 基本的な表現運動になれ、その楽しさや感じたことを表現している。【2段階イ】 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、教師や友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとしている。【1段階ウ】【2段階ウ】	「ラジオ体操をしよう」 「リトミックで体を動かそう」 「音楽に合わせて体を動かそう」	

1 学期	1 4	[D 水の中での運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をする。 【2段階ア】 (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。【1段階ウ】【2段階ウ】	[D 水の中での運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしている。【2段階ア】 (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。【1段階ウ】【2段階ウ】	「水遊びをしよう」 「プールで浮いてみよう」 「プールで体を動かそう」	・水遊び ・プール など
2 学期	3 2	[C 走・跳の運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をする。【2段階ア】 (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。【1段階ウ】【2段階ウ】 [E ボールを使った運動やゲーム] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをする。【2段階ア】 (思判表力) ボールを使った基本	[C 走・跳の運動] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしている。【2段階ア】 (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。【2段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。【1段階ウ】【2段階ウ】 [E ボールを使った運動やゲーム] (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしている。【2段階ア】 (思判表力) ボールを使った基本的な運	「みんなで歩こう、走ろう」 「ウォーカーを使って歩こう」 「トランポリンで弾もう」 「ジャンプしよう」 「友達とボール渡しをしよう」 「ボールを転がそう」 「ボウリングゲームをしよう」	・ウォーカーで歩く ・トランポリン ・ボール渡し ・ボール転がし ・ボウリング など

		的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。【２段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。【１段階ウ】【２段階ウ】	動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現する 【２段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。【１段階ウ】【２段階ウ】		
3 学期	2 4	〔B 器械・器具を使っての運動〕 (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をする。【２段階ア】 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現する。【２段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。【１段階ウ】【２段階ウ】	〔B 器械・器具を使っての運動〕 (知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしている。【２段階ア】 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。【２段階イ】 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとしている。【１段階ウ】【２段階ウ】	「マットの上で横転がりを使用」 「平均台を座りながら移動しよう」 「肋木を上ろう」	・マット ・肋木 ・平均台 など

令和8年度 II 課程 B 外国語活動 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名	
35		6年Ⅱ課程B			
年間目標		(知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝える力の素地を養う。 (学・人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	35	(知及技)英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じることができる。 (学・人)対話的な活動を通して、外国語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。	(知・技)英語での挨拶の仕方や名前の言い方や感情や状態を表す語や表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 (思・判・表)音楽を聴いたり、外国語での簡単な単語や挨拶などを聴いたりすることを通して、自分の気分などについて声や表情で表現する。 (主学) ・ハロウィンやクリスマスなどの外国の行事を知り、外国語に親しみながら、楽しく行事に参加する。 ・外国の歌やダンスに親しみ、自分なりに歌ったり身体を動かして活動に楽しく参加しようとする。	・あいさつしよう Hello! ・気分を伝えよう How are you ごきげんいかが? ・ダンス(ABCダンス・Head Shoulders,Knees,AndToesダンス ・Hallo ソング ・collar(色) ・shape(形) ・今日は何曜日 ・I like mondays すきな曜日はなにか ・へんじをしよう ・すきなものはなに What do you like? ・きょうのてんきは How is the weather today? ・かずをおぼえよう How many? かぞえてあそぼう ・ハロウィン ・クリスマス ・世界の行事を知ろう! Let's take about global events! ・えいごでダンス ・Which~,A or B?	・時間による挨拶の表現の違いや気分の違いによる表現に親しむ。 ・自分の今日の気分について、声や表情で表現する。 ・外国語のダンスや歌を通して外国語に慣れ親しむ活動を取り入れる。

令和 8 年度 特別の教科 道徳 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		学年・課程		担当者氏名
35		6 年 II 課程 B		
年間目標		・身の回りの生活や人との関わりにおける道徳的な価値について考え、自分の生活や周りの人によりよく関わり生活するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができる。		
学期	時数	目標	主題	活動内容
年間を通して指導する	15	A 主として自分自身に関すること 【節度、節制】 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をする事ができる。 【希望と勇気、努力と強い意志】 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くことができる。 B 主として人との関わりに関すること 【感謝】 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちを伝えることができる。 【相互理解、寛容】 言葉が気持ちや要求を表していることを感じる事ができる。 C 主として集団や社会との関わりに関すること 【規則の尊重】 集団や社会のきまりの大切さを理解し、規律ある生活をしようとする事ができる。 【よりよい学校生活、集団生活の充実】 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくる事ができる。 【伝統と文化の尊敬、国や郷土を愛する態度】 言葉がもつよさを感じるとともに、読	主題 1 「一人でできるもん」	排泄 着替え 給食準備 給食 歯磨き 洗面
			主題 2 「気持ちを伝えよう」	朝（帰り）の会 季節行事（母の日、父の日、敬老の日、勤労感謝の日） 挨拶 遊び 交流及び共同学習
			主題 3 「自分の役割に取り組もう」	児童会活動 日直 清掃活動
			主題 4 「きまりやマナーを守ろうね」	自分の物と他人の物の区別 学校のきまり 日常生活のきまり 食事のマナー 避難訓練 交通安全 遊びのきまり
			主題 5 「身近な生き物や自然を知ろう」	季節の変化と生活 自然観察 栽培学習 校外学習 給食

		み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとするができる。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 【自然愛護】 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることができる。		
--	--	--	--	--